

東かがわ市立白鳥中学校学校だより 平成24年新年号

E-mail shirotori-jh@higashikagawa.ed.jp URL <http://www.higashikagawa.ed.jp/jh/shirotori/>

教育目標

「学び合い、思い合う生徒の育成」

求める学校像

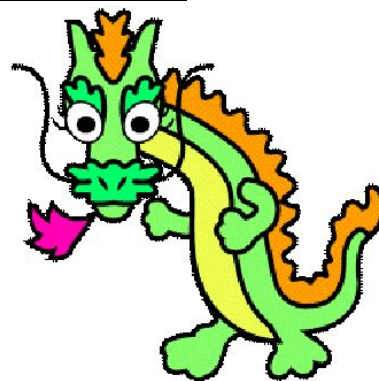
- (1) 生徒が安心し、楽しく学習活動や集団生活を送れる学校
- (2) 教師として勤務することに誇りと喜びを実感できる学校
- (3) 保護者や地域に信頼される学校

新年 明けまして おめでとうございます

新しい年を迎え、保護者・地域の皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、今年が皆様にとりまして、幸多い一年となりますことを祈念したいと思います。

3学期は短い期間ですが、学年のまとめの学期となります。特に3年生にとっては、卒業・進学という大きな人生の節目を迎えようとしています。そこで、生徒一人ひとりが、自分の「夢の実現」(ドラゴンボール)に向かって、龍のように勇猛果敢にチャレンジすることを期待したいと思います。そのために、教職員一同力を合わせて、生徒たちの指導・支援を精一杯頑張りたいと決意しております。

保護者・地域の皆様にも、生徒たちがすばらしい環境の中で学校生活が過ごせるように、また、大きくなって誇りある母校から巣立っていけるように、これまで以上の御協力と御支援をお願い申し上げます。



花咲く夢咲く心咲くプロジェクトがスタート



11月4日(金)に、心に花を育てようと、全校生が一人一苗のパンジーを植え、育てています。3年生が赤色のパンジー、2年生が青色のパンジー、1年生が黄色のパンジーです。これは、ヘルメットのシールの色と同じです。一つのプランターに3~4個の苗を植え、交替で水やりや草抜きに取り組んでいます。現在は中庭で育てていますが、卒業式には校舎から体育館までの通路に並べ、卒業生への「花道」をつくりたいと考えています。植えてから2ヶ月がたちますが、寒い中、元気に花を咲かせています。特に、3年生には大きな花(心の花)を育てて巣立ってほしいものです。

人権を尊重し、いじめや差別のない学校にしよう

12月9日(金)に行いました人権・同和教育授業研究会には、寒い中にもかかわらず、多数の方々にご参加いただきましてありがとうございました。1年生が「班員・クラスのみんなへありがとうの花束を贈ろう」、2年生が「ちがいのちがい」、3年生が「統一応募用紙って何?」を題材に全クラスで公開授業が行われました。御家庭でもこの機会に人権やいじめについて話し合っただけなら、子どもたちの成長につながると思います。よろしく申し上げます。

3学期とは

3学期は学年の終わりです。ことわざに「終わりよければすべてよし」とあります。3学期の結果がよければ、「有終の美を飾る」ことができ、この年度は成功したと言えます。

また、3学期は、新しい年の初めでもあります。つまり、一年の出発の時期でもあります。したがって3学期を成功裏に過ごすことが、この一年の成功を約束することになるのです。



生徒会役員が決定しました



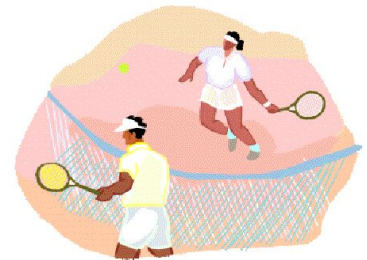
12月14日(水)に新しい生徒会役員を決める選挙が行われました。1・2年生から14名が立候補し、投票、話し合いの結果、生徒会長に2年2組七條慶太さん、副会長に2年3組橋本剛志さん、1年1組多田宗太郎さん、会計に2年2組田中美紀さん、書記に1年1組兒島光里さんが決まりました。9名の執行部員と共に、白鳥中学校生徒会の伝統を受け継ぎ、発展させてくれることを期待しています。

前生徒会長の3年2組六車康宏さん、副会長の3年3組黒田圭人さん、書記の3年3組横澤太祐さん、これまで生徒会活動を盛り上げてくれてありがとうございました。

新人大会でも白中生が大活躍

全国大会出場を果たしたバドミントン女子個人をはじめ輝かしい成績を残した3年生の後を受けて、1・2年生が新人大会に挑みました。

地区新人大会では、ソフトテニス部男女団体、柔道部男子団体、バレー部男子、バドミントン女子団体が優勝、卓球部女子団体が準優勝を飾りました。個人戦でも、優勝が5つ、準優勝が5つ、3位が4つと健闘しています。



県新人大会では、ソフトテニス部女子団体、バドミントン女子団体、柔道部男子個人が準優勝と、上位の成績を収め、今後の活躍が期待されます。引き続き温かい御支援をよろしくお願いします。

また、前回お知らせしました「お弁当コンクール」で県代表になった2年3組の岡部祐馬さん(協力者:永峰純也さん、木村太一さん)の3人が、予選審査の結果、全国大会(東京)に出場することになりました。健闘を祈ります。

家庭学習を充実させよう



子どもたちの学習を軌道に乗せ、確かな学力を身に付けさせるためには、何と言っても家庭学習の時間をしっかりと確保し、着実に実践を積み重ねていくことが大切です。

それでは実際に、中学生にとってどのくらい家庭学習が必要なのでしょう。もちろん学習は、時間では計ることができない質的な内容も重視されますが、本校では、最低でも「1時間×学年の数」を目標としています。

3年生は、すでに入試が始まっています。1・2年生も2月には診断テストが控えています。御家庭においても、これを機に、ぜひ家庭学習に取り組む重要性についてお子様と話し合ってください。どうか保護者の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。